

議長（中田文夫君） 3番 三鍋芳男君。

3番（三鍋芳男君） おはようございます。

私は、先ほどからお話に出ておりますが、総合計画の後期計画の見直しについて質問したいと思います。

6月の舟橋村議会定例会での答弁の中で、金森村長が、村民の幅広いニーズ、要望に応えるため、また行財政の適合性と今後のむらづくりの方向づけを図るために、平成13年度にスタートいたしました第3次総合計画の後期計画の策定に取り組んで、自主財源の確保や土地利用計画など、もろもろの課題に集中的に取り組み、計画にのせ実施していくことが大切であると考えているということをお答えいただきました。

また、国からは交付税も少なくなる中、今後ますます厳しい財政状況が懸念される中で、今後の舟橋村の方向性をしっかり導き出す計画にしていきたいと思うわけでございます。村長の意気込みと実行力に期待するわけであります。また、今後の後期計画の策定に当たり、村長自身の考え方をお聞かせください。

以上です。

議長（中田文夫君） 金森村長。

村長（金森勝雄君） 3番三鍋芳男議員さんの御質問にお答えいたします。

議員さんが御指摘のとおり、私は6月定例村議会の一般質問で答弁をしたとおりでございます。そのように認識しております。

それで、総合計画後期計画の必要性につきまして、私の意見を述べさせていただきたいと思います。

第3次総合計画は、10年後の村の将来像を示し、魅力あるまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための村の施策あるいはまた事業の総合的な体系を示すものでありまして、村の最上位計画として位置づけされているものでございます。

本村は、平成13年9月に総合計画を策定いたしまして、将来像「自然・人・地域がきらめくむら」の実現に向けた事業を推進してきたところでございますけれども、御承知のとおり、社会経済が成熟する中で、予想を上回るスピードで少子高齢化あるいはまた人口減の社会が到来すると。あるいはまた地球環境問題の深刻化、さらには地方分権の進展等から、村を取り巻く環境も大変変化してまいりました。このような大きな時代環境の変化によりまして、村民の方のニーズもより多様化、高度化してまいっております。

このため、将来像実現に向け、地方分権の流れを的確にとらえた自主・自立のまちづくりに向けた地域活性化への取り組みや行政改革など、住民と行政が協働してまちづくりに取り組むという独創的かつ戦略的な事業、また、新しいまちづくりのための確たる目標を再設定、明示した後期基本計画が必要であると、私はそのように考えまして、今回の議会に補正等で皆さん方にもお願いをしているところでございます。

それでは、後期計画が何を主眼として行うのかということにつきまして、3点に絞って私から申し上げたいと思います。

第1に、自立に向けた計画づくりであります。村に自立戦略 精神的自立、経済的自立、政治・行財政的自立 のもとに、行財政改革の推進を行うこととしております。

第2に、住民、職員の協働による計画づくりであります。住民と職員のまちづくり情報の共有化を進めまして、地域活動の活性化と職員のプロジェクト・マネジメント能力の向上に向けた計画づくりを実施してまいります。

第3に、目標・戦略重視型の計画づくりであります。地域のポテンシャルを最大限に活用できる選択と集中による戦略的な施策・事業展開が必要となってまいります。新しい事業を始めるために、今進めている事業をカットする時代でもあり、村の特性を十分考慮いたしまして、将来像の実現に向けた目標・戦略重視型の計画といたしたいのであります。

今回の計画策定に当たりましては、今私が述べましたような視点から、策定の具体的な必要性と、今現在あります計画の検証を初めといたしまして、プライマリーバランスなどを取り入れた実施計画を追完いたしまして後期計画を策定したいと考えております。さらには、この後期基本計画は、次年度、平成19年度から予算編成の骨格といたしまして取り組んでまいる所存であります。

そういうことで、後期計画はそういった姿勢のもとに練り上げるというか策定したいというふうに考えておりますので、皆さん方のいろいろと御支援を賜りますようお願い申し上げます、私の答弁とさせていただきます。よろしくようお願い申し上げます。

議長（中田文夫君） 3番 三鍋芳男君。

3番（三鍋芳男君） 今、明確に答えていただきまして、本当にありがとうございます。

13年度にスタートしたときには、大体450万ほどかかっております。今度の後期計画においては、先ほど村長が言われたとおり、375万補正で計上されております。この金額云々は別としても、やはり中身のあるもの、先ほど「19年度予算ですぐに取

り組む」というふうに言われましたが、本当にこれだけの予算ですぐできるんだらうかどうかということと、取り組むなら即取り組んで、すぐに実行に移していただきたいというふうに思います。

そういうことと、あと予算的に、計画は予算とは別にあるんですが、たまたま下水道の関係で見ますと、下水道の計画でまだ61%ほどしか計画なっておりませんが、今後まだあと残りのものを完成しなければいけないわけで、舟橋は大体整備はなされておりますが、今後舟橋で3億から4億ほどの負担金がかかってくるというふうにお聞きしておりますが、そのへんもやはり計画の中に考えておられるのかどうなのか、お答えをいただきたいなというふうに思います。

以上です。

議長（中田文夫君） 金森村長。

村長（金森勝雄君） 三鍋議員さんの再質問にお答えしたいと思います。

まず第1に、予算関係のことでございます。

要するに、13年度に策定された基本構想、基本計画が今現在あるわけですね。そして、年次的に行きますと、今年度はちょうど折り返し点を過ぎたという状況であります。あと19年度から22年度までですから、4カ年度の計画に集約されると思うんです。

私は、先ほど質問に答弁させていただいたとおりでございますが、中身がある、内容があるといえますか、本当は具体的に指数を用いていくのが、財政状況とかそういうものが入ってくるわけでございますので、専門的な知識よりも、村の職員が一丸となって今までやってきた事業を検討、検証するということが主眼になるというふうに考えております。逆に言いますと、中身が濃くて経費が安くてというふうに私は感じておるわけでございます。

いずれにしましても、これもある程度まとまった時点で村民の皆さん方に公開すべきであるし、そういうことは当然行うわけでございますので、またいろいろと皆さん方の御意見を伺う時点があると思いますので、もうしばらく時間をいただきたいと思うわけでございます。

それと、今おっしゃった中に、私はプライマリーバランスということを申し上げたんですが、下水道の事業は、御存じのとおり、中新川広域行政事務組合は立山・上市・舟橋と2町1村で構成されておるわけでございますが、その負担の割合は、私が聞いておる範囲内では、整備は舟橋村は94%以上いっているはずでございますが、あと残され

ているのは、村が造成いたしました2期の芦原団地の40何戸ですか、あそこはコミュニティプラントということで別の処理方法をとっております。これを今の中新川の管に流入すれば、ほぼ100%整備されたことになるわけでございまして、それにかかる費用というのは、受益者負担等を見ますのでそんなにお金は膨らまないと思っておりますし、これは方式がございまして、要するに有料のものについての負担をしていくと。もちろん施設の拡充も伴うわけでございますけれども、これも利用者の流量と人口でいくわけでございますので、残っているのは、立山さんが今現在進捗率は50%程度だと思っております。それから、上市さんは65%を超えておりますか、そういうような状況でございまして。今後入ってくる流量が増えてくるのは立山、上市さんでございまして、私ところは現在大体1億3,000万ほど負担しているわけでございまして、それ以上に膨らむということは、こちらのほうに情報は得ておりません。三鍋議員さんがどこで知られたのかはわかりませんが、十分そういった試算を入れていかないと、後でその経費がどこから出るのかという不安も出てまいりますので、慎重に対応してまいりたいと思っております。私が今現在知り得ているデータではそういったことございまして、今後、極端に2億、3億増えるということはありませんというふうにご検討いただいております。

いずれにいたしましても、よく調べてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（中田文夫君） 三鍋芳男君。

3番（三鍋芳男君） 今の下水の話、私2、3日前にちょっと下水道に用がありまして、事務局長なり会計担当者の酒井君を交えて話を聞いておったわけでございます。

舟橋がまだ11%弱の負担が残っていると。確か数字的には3億から4億ぐらいだという話を聞いておるわけで、村長は管理者でありますので当然知っておられるかなと思っていたんですが、もう一回確認をいただきたいというふうに思っております。

その中において、私ところの竹内地区におきましては、イメージアップの施設の問題がございまして、その話の関係もありましたので話しに行っていたわけでございます。その確認というものも含めて、今後、各行政においても中新川広域圏でも厳しい財政状況ということもあります、その当時の約束事というものもあります。先ほど竹島議員さんからも前のときの話、いろんな施設、特にスポーツの施設が足りないんだという

話も出ておりますが、そういったもので、我々としても何らかの形で推進し、皆さんがだれでも使えるようなものでもできればいいかなというふうに考えておるわけで、管理責任者である村長さんにおかれましても、お考えの中でいろんな財政負担等もあるかと思しますので、またそのへんも検討願いたいなと思えます。

以上です。